2020年10月1日

保険薬局　各位

島根大学医学部附属病院

消化器内科・薬剤部

炎症性腸疾患患者におけるトレーシングレポートの運用について

　平素より、院外処方箋の応需および薬薬連携にご協力いただきありがとうございます。

　さて、近年、生物学的製剤をはじめとして炎症性腸疾患（IBD）に使用できる薬剤の種類が増加しており、粘膜治癒を目的とした長期寛解が図れるようになってきました。5-アミノサリチル酸製剤などの経口治療薬を飲み忘れなく服用することで、再燃率を下げることが可能とされており、高い服薬アドヒアランス保つことが非常に重要です。

　そこで、当院にて治療を行っているIBD患者を対象に当院と保険薬局との間で服薬アドヒアランスに関する情報を共有すること目的とし、トレーシングレポートを開始致します。つきましては、各保険薬局の薬剤師の皆様には、調剤時に服薬指導などを実施いただいた際や後に、コンプライアンス・残薬状況、副作用など薬学的な管理を行うことで、IBD患者の服薬アドヒアランス向上についてサポートしていただきますようお願いいたします。

　また、新たな試みとして、IBDに関連した治療や薬剤に関する処方意図や治療方針などに対する問い合わせについての項目を設けました。当院と保険薬局との情報を共有することでより良い治療を提供できる体制を構築していきたいと考えています。いただいた問い合わせについては、IBDセンターの医師と薬剤師が協議の上で返答を行います。

　つきましては、本運用について、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 対象 | 当院受診中のIBD患者 |
| 対象診療科 | 消化器内科 |
| トレーシングレポートの書式 | 同封の書式を使用してください |
| FAX送信先 | 0853-20-2475（薬剤部） |
| 問い合わせ先： | TEL　0853-20-2465（薬剤部　中村） |
|  |  |

以上